

令和6年度 射水市食育推進会議 会議録

開催日時 令和6年10月31日（木）午後1時30分から3時

開催場所 射水市大島分庁舎 大会議室

出席者 射水市食育推進会議委員〔7名〕

姫野委員、尾上委員、尾山委員、金森委員、亀谷委員、川井委員、犀藤委員

射水市食育推進会議幹事会〔12名〕

杉本福祉保健部長、轟福祉保健部参事、山口福祉保健部次長、網政策推進課長

市井環境課長、藤井保険年金課長、高岡子育て支援課長、坂井こども福祉課長

政岡保健センター所長、佐野観光まちづくり課長、野崎農林水産課長

佐藤学校教育課長

欠席者 2名（倉谷委員、春木生活安全課長）

議 事

- (1) 射水市食育推進計画の進捗状況について（資料1-1、1-2を説明）
- (2) 射水市の食育関連事業の実施状況について（資料2-1、2-2を説明）
- (3) 第3次射水市健康増進プラン（栄養・食生活）について（資料3-1、3-2を説明）

意見交換、質疑応答

【会 長】

こども食堂は何名程度利用しているか。保護者等は有料か。

【こども福祉課】

1回あたり平均30人から50人と聞いている。団体により高校生以下は無料、それ以上の年代はいくらと設定しているところもあり、同伴者を無料としているところもある。

【委 員】

地場産食材の定義を伺いたい。基本目標の9ページに地場産食材とあるが、この地場産食材とは富山県全体を対象とするのか、射水市に限定しているか。例えば富富富米のおにぎりの教室があったが、射水市は富富富の作付けはあるか。

【農林水産課】

富富富の作付けはある。まだコシヒカリほどではないが、普及しており、毎年2割ぐらいずつ伸びている。地場産については、富山県全体を対象とする場合もあれば、射水市の場合もある。

【子育て支援課】

子育て支援課では、地場産食材を給食に使用する「射水きときの日」を保育園で設定し、射水市産食材を給食に使っている。

【委 員】

新湊漁協では、ベニズワイガニが獲れるが、県全体で獲れたものを地場産としているか、射水市で揚がったものに限定しているか。

【委員】

新湊漁港で獲れたカニを地場産としている。射水市は射水市のものを使って地場産と言っているだろう。

【学校教育課】

給食について報告する。学校給食においてはできるだけ地元のものを使っていこうというところで取組を進めているが、射水市産だけのものでは賄えない。地場産食材の使用率については毎年富山県産と射水市産について報告しており、令和5年度は富山県産のものは39.6%、射水市産については14.6%を給食に使用している。新湊漁業協同組合のご協力で、ちょうど今カニ給食をしていただいております、それは新湊漁港で水揚げされた大きなカニをご寄付いただき実施している。

【委員】

カニ給食を開始してから20年経過し継続できて嬉しい。これは、事業者だけではなく、地域の皆さん、射水市全体の皆さんのおかげで、私達も感謝しながら提供させていただいている。

【委員】

射水市で採れたものを地場産という感覚もあるが、地場産についての考え方は富山県内ということによいか。

【事務局】

射水市産を含めた県内産を地場産として捉えている。

【会長】

カニ給食はとても人気があり、その頃は感染症が流行る時期だが子ども親も感染症で休まないように特に注意していると聞く。地震の影響でカニが獲れるかどうか。

【委員】

カニと白海老は組合の代表的な魚であり、心配している。能登半島地震から獲れておらず、値段も高いが、値段が高くなればそれなりに利益があるため買ってくれる人のおかげであり、少ななかで今年も実施できたことは本当に皆喜んでいて。そのような協力があり漁業者も成り立っている。

意見交換、質疑応答（第3次射水市健康増進プラン（栄養・食生活）について）

【会長】

朝食の摂取状況があるが、あまり食べていない方の理由は何か。

【事務局】

朝食を欠食する理由としては、市民アンケートより20～30代の若い世代では、時間がない、食欲がないという回答が多く、また30～50代では食べる習慣がないと回答する人が多い。特に男性の20～30代では時間がない、男性の50代では食べる習慣がない人が特に多く、女性では食欲がない、食べる習慣がないと答えた人が多い。

【会長】

子供で朝食を食べない子は、夜にSNSを利用し寝る時間が遅いから起きられないのか、それとも経済的理由で食べられない子もいるか。全国的には、経済的理由で朝食を食べられず学校に登校してから毎日朝食を提供しているところもあるということだが射水市はどうか。

【委員】

射水市の子供たちの朝食摂取については、家庭の事情で食べていないという子が伸びにくい。朝食について指導していく中で、次の調査で食べられるようになっているかということ、家庭の事情が大きいとみられる。この家庭調査では、寝る時間も調査しているが、やはり寝る時間の遅い子は朝食の摂取が良くないというのがみえる。

【会 長】

塩分摂取量は、富山県はかなり多いほうだと思うが、射水市では平均1日何グラム程度摂っているか。

【事務局】

市ではグラムでは測定していないのでわからない。

【会 長】

医学論文では JAPAN と書かれるより富山と記載されていることがあり、塩分摂取量が高い地域であると思っている。

【会 長】

小児生活習慣病予防検診の後に肥満傾向の子に生活習慣の改善のために話をしているが参加が少ない。出席率はどうか。

【学校教育課】

令和5年度のすこやか教室への参加率は23%である。

【会 長】

コロナ禍でより減ったかと思う。周知して、少しでも多くの人に来てほしい。そのときによく思うのは、親が仕事等のため食事が遅く、子供が学校から帰る4~5時にお腹がすいてスナック菓子や炭酸飲料等を大量に飲食し、親と一緒に8~9時という遅い時間にご飯を食べ、1日4食食べている子が肥満傾向にあるとみられる。

いろいろな活動を市で実施しているが、なかなか市民に伝わっていないと思う。実施している活動をもっと市民に周知することが必要。本日ご発言いただいた意見を市で検討し、食育の推進に努めてほしい。